土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

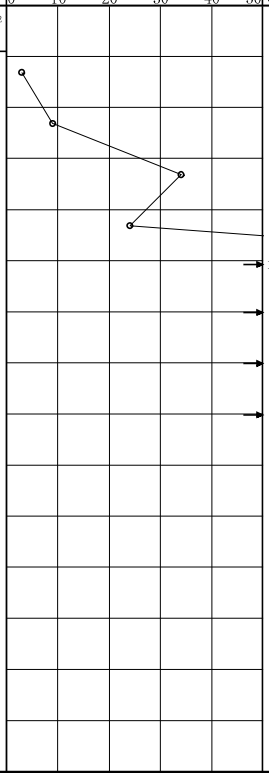
調　査　名　一級河川太田川水系矢賀2支外砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.4(落久保川右支7)	**調査位置**	広島市東区山根町　地内			**北緯**	34° 24′ 19.8″
発注機関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	令和3年 2月 1日 ～ 令和3年 2月 3日	**東経**	132° 29′ 15.3″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 73.27m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直90° 24.4°
総削孔長	8.00m	**使用機種**	**試錐機**	東邦D-1B(58)	**エンジン**	ヤンマーNFD-13	**ポンプ** 東邦 BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1 2 3	70.27	3.00		礫混じり砂		暗褐～淡褐	rd1			砂の粒径は不揃いで、φ40mmの礫を混入する。 GL-0.85～1.00m間、コンクリート殻を混入する。 深度増すにつれ、細粒分多くなる	02/02 0.90
4	68.47	4.80		礫混じり砂		淡褐	rd3			砂の粒径は不揃いで、φ2～30mmの礫を混入する。	
5	67.47	5.80		花崗岩		茶褐				花崗岩の風化帯。 GL-5.15mまで、ハンマー打撃でマサ土状に砕ける。 岩級区分はDH級。 以深、棒状コアとなるがハンマー打撃で岩片～短柱状コアとなる。 岩級区分はCL級。	
6 7 8	65.27	8.00		花崗岩		茶褐～灰				比較的硬質な棒状コアで採取される。 深度増すにつれ、コア肌滑らかとなる。 亀裂有し、短柱状コアとなるが、亀裂面は比較的新鮮である。 岩級区分はCM～CH級。	



深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15	3	1	1	1	3/300		
1.45							
2.15	9	6	2	1	9/300		
2.45							
3.15	34	8	9	17	34/300		
3.45							
4.15	24	6	9	9	24/300		
4.45							
5.00	125	27	23/20		50/120	120	
5.12							
6.00		貫入不能			50/0		
6.00							
7.00		貫入不能			50/0		
7.00							
8.00		貫入不能			50/0		
8.00							

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					2/1
					2/2
					2/3